

うるわし の暮らし 聴竹居との出会い

人と自然：環境思想セミナー vol.20

話し手：栗本夏樹さん
漆作家、京都市立芸術大学准教授

聞き手：鞍田崇
総合地球環境学研究所上級研究員

2009.05.13. (wed.) 15:00 - 17:00

総合地球環境学研究所(地球研)・講演室

うるわしの暮らし 聴竹居との出会い

古来より、美は生活と共にありました。
 生活が芸術を育み、
 芸術は人間の生活を豊かなものとしてきました。
 特に日本においては、
 芸術は生活そのものであったと言っても過言ではありません。
 私は、この日本文化の伝統を大切に、
 身近な生活の中で芸術を楽しむ提案を行なっていきたいと考えています。

栗本夏樹

風土と住む人の身体に即した住宅を追い求めた、建築家・藤井厚二(1888-1938)の傑作、聴竹居。斬新な造形活動で知られる漆作家の栗本夏樹さんが、初夏の聴竹居で個展を開きます。漆の語源は「うるわし」「うるおし」。個展を前にした栗本さんと一緒に、漆文化の歴史と魅力をたどりながら、暮らしの潤い、その美しさについて考えていきます。

話し手：栗本 夏樹 KURIMOTO Natsuki

漆作家、京都市立芸術大学准教授。

1961年大阪府堺市生まれ、1987年京都市立芸術大学大学院修了。主な展覧会に「Japanese Design」展(米国/フィラデルフィア美術館、1994)、「日本の現代工芸 - 伝統と前衛」展(英国/ヴィクトリア&アルバート美術館、1995)、個展(東京・京都/高島屋、2004、2008)、「Japan & Korea 漆 arts exhibition」(東京芸術大学大学美術館、2006)、「ジュエリーの今:変貌のオブジェ」(東京国立近代美術館工芸館、2006)など。

タイアップ企画

「聴竹居との出会い 栗本夏樹 漆芸展」

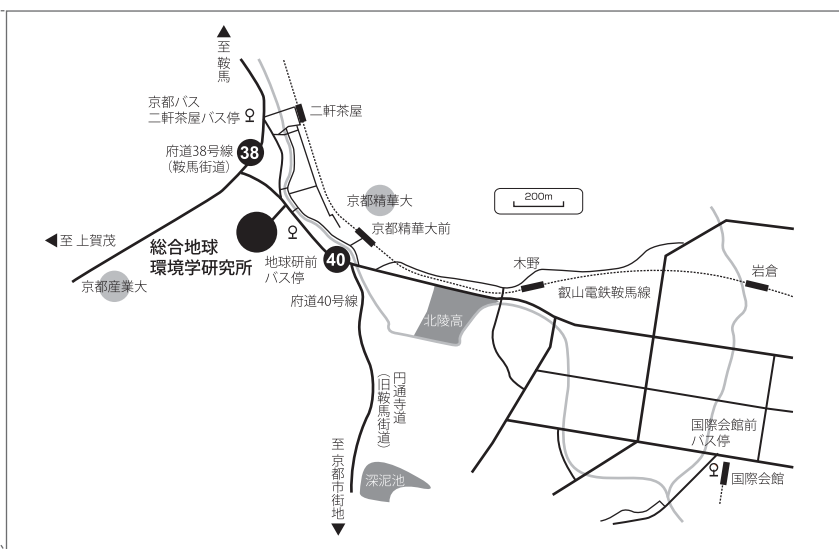
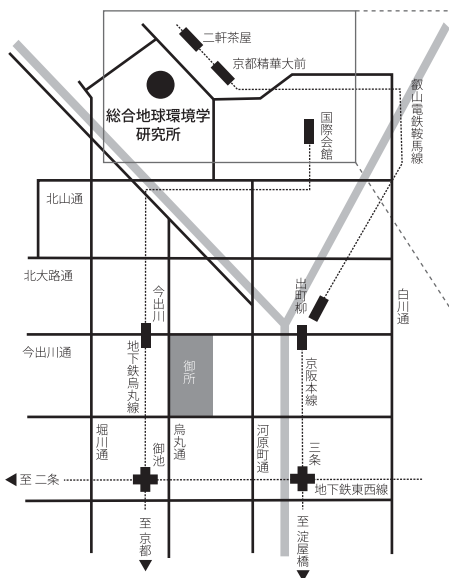
2009年5月22、23、24、27、29、30、31日 10:00～19:00

実演 + トーク「漆造形のエコロジー」 栗本夏樹 × 鞍田崇
 5月30日(土) 17:30-19:00 *参加料 ¥1,500(見学科込) 定員20名

聴竹居 <http://www.chochikukyo.com/>

京都府乙訓郡大山崎町大山崎
 見学科 大人 ¥1,000 学生・児童 ¥500
 要予約

ACCESS MAP



総合地球環境学研究所(地球研)

JR「京都駅」近鉄「京都駅」阪急「烏丸駅」より
 京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から
 京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。
 京阪「出町柳駅」より
 叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
 車・タクシーでお越しの方は
 国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

聴講無料・申込不要

お問合せ

環境思想セミナー担当 鞍田崇(地球研・上級研究員)

075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

次回予告 vol.21 2009年6月24日(水)

「僕はなぜ花を愛でるのか - AMPS AZUMA MAKOTO PRIVATE SEMINAR」

講師・東信氏(フラワーアーティスト)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
 総合地球環境学研究所(地球研)
 〒603-8047 京都市北区上賀茂山本山457番地4
<http://www.chikyu.ac.jp>